声掛け合い はぐくむ力

わがまち子育て合言葉 町内会の回覧板を作成

五日市観音学区では、「五日市観音ネットワーク」の組織力を生かして「地域福祉計画」を策定。5つのまちづくり委員会の一つ、コミュニティ委員会が、ネットワーク特製「町内会回覧板」の表紙に『観音の子育て合言葉』を印刷・配布しました。

声を掛け合い、地域が一つになって、観音の子どもたちを健やかに育てようという取り組みです。

①笑顔であいさつ
②家族そろって朝ごはん
③早寝・早起き元気なからだ
④日頃から向こう三軒両隣
⑤すべての子どもに、

家庭学習の習慣を 危険察知・予測し回避 子どもたちが能力磨く

あいさつ運動や見守り活動・パトロール巡回・子ども110番などのおかげで、子どもの安全性が以前に増して確保されるようになってきました。

子どもたちは学校でさまざまな機会を通じながら、危険予測や危険回避の方法を学習します。また、被害を最小限に抑える対処方法も学びます。社会規範を尊重する心を伸ばし、被害者にも加害者にもならない学習もします。PTAや警察と合同で開く「犯罪未然防止教室」や専門医の協力を得て開く「喫煙・薬物教室」は、具体的で分かりやすいと好評です。

ごみの無い安全なまち 環境が人を守り育てる

子どもは見慣れたこと、聞き慣れたことに心が似てきます。

ささいな落書きやごみの散乱であっても、放置すれば事件の起こりやすいまちになるでしょう。思いやりのある温かい人間関係は、子どもにとっても最高の環境です。

学校は地域と連携して、将来を担う子どもたちが地域の一員としての自覚と社会性を身に着けることができるようにしています。

「してもらう」から「人のため、社会のために何かできる」人になるように学んでいます。

（五日市観音小学校校長・菅田和子）

地域の環境・人が子どもを守り、育てる